

弓道ながの

第52号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社印刷

巻頭言

県立武道館設立について

長野県弓道連盟会長 土川 俊市



長野県立武道館の建設運動は、平成二十年六月設立準備会を経て翌年に設立された県武道

連絡協議会が母体となり、平成二十二年二月、十七万人の署名を添えて県立武道館建設を要望したのがスタートで、同年県教委会に「武道の県的拠点施設のあり方研究会」が創設され活動が始まりました。

平成二十二年六月再度県知事に要望いたしました。その折知事からは今まで長野県に県立武道館のないのが不思議だとの思いで、県としても将来計画のなかで対応していきたいとの考えを示されました。

県立武道館のないことは武道関係者としてみれば県に県庁のないのと同じ思いと重なり、加えて中学校武道必修化実施等や県議会スポーツ振興議員連盟の強力な支援、佐久市からの建設用地受け入れもあり、二十六年九月別記の早期建設に関する要望書を知事、教育長に提出いたしました。

県では教育委員会に「武道振興施設のあり方検討会」が発足、近隣の武道館施設を視察されたり、県内武道団体からのヒアリング（各方面の意見集約）等を実施する活動を開始しています。私たち武道関係に関わる者としては一日も早い実現を切望するとともに成り行きを見守りたいと思います。皆さまの一層のご支援をお願いします。

平成26年9月25日

長野県知事 阿部守一様

長野県武道連絡協議会
会長 石田 治一郎

要望書

武道は、我が国古来の武術を源とし、長い年月を経て、術から道へと発展した日本固有の伝統文化であり、その技を磨く稽古を通じて心身を鍛錬・修養し、人格の完成と社会に有意な人材育成を目的に普及・発展してきました。

現在は、競技や生涯スポーツとしてばかりではなく、礼儀や規律を重んじる精神から青少年の健全育成を目的に行われるなど、武道の限らない教育的価値についても注目され、国内はもとより、広く世界にも普及しております。

本県においても、幼児から高齢者まで、幅広い年代層の多くの愛好者が、各地区の教室、道場、クラブなどにおいて、生涯スポーツや自己の鍛錬を目的に取り組んでおります。

また、中学校教育においても、武道必修化の充実に向けて、研究授業の実践や指導者講習会、段位認定の実施を積み重ねながら、子どもたちの確かな学力の定着、青少年の健全育成を目的に取り組んでいるところであります。さらに学校教育における武道は、単に「身体能力や技能の向上」、「道徳心の涵養」のみにとどまることなく、子どもたちの生活の安全・安心に対する懸念の広がりに対応し、自他の危険予測、危険回避能力をも身に付ける総合的な安全教育として、武道教育の果たす役割も期待されているところであり、その期待と需要は広がりつつあります。

このような日頃の活動や武道に対する新たな可能性の萌芽とともに、長野県武道連絡協議会に加盟する各競技団体は、県規模の大会、ブロック大会、講習会等を毎年開催し、武道の普及・発展に研鑽を重ねているところであります。

しかしながら、全国で県立武道館が設置されていない県は、本県を含めてわずか3県となっております。武道の殿堂・拠点としての建設は、本県武道愛好者の長年にわたる悲願であり、平成22年3月には、この趣旨に賛同した17万人を超える県民の皆様を添えて県当局に要望した次第であります。

このような状況の中、佐久市から平成24年12月に県立武道館の建設と誘致にかかわる要望書が当連絡協議会に提出され、平成25年12月に現地視察を実施し、平成26年3月に開催した役員会において、建設候補地として最適であると役員全員の賛同を得ました。そして、佐久市の中心部にある良好な立地環境において、武道大会誘致等による広く県内外の交流人口の創出と産業の活性化が図れるものと考えられることから、平成26年7月に開催された当連絡協議会の総会の議案において、県立武道館の建設候補地として全会一致で佐久市に決定しました。武道の振興と青少年健全育成のより一層の推進を図るためにも、下記事項の実現について強く要請します。

記

- 一 県立武道館を早期に建設すること
- 一 武道振興・普及のための諸事業を実施すること
 - 各種武道大会への支援、競技力向上等に向けた予算の拡充
 - 指導者の育成、中学校武道必修化及び高等学校における武道教育の充実

以上



天皇盃受賞

飯伊支部 錬士六段 平澤 敏弘



九月二十一日から二十三日に中央道場にて開催された、天皇盃第六十五回全日本男子弓道選手権大会にて優勝し天皇盃を受賞いたしました。天皇盃受賞は長野県弓道連盟として初となり、前人の先生方の悲願を達成出来たことは大変嬉しく思っています。

全日本選手権の出場は今回が四回目ですが、過去の三回は予選で四射皆中するも、点数が伸びずに予選敗退していました。平成二十二年、初めて出場した時は、「皆中さえすれば予選を通過して、決勝戦で的中勝負が出来るだろう」と世間知らずで根拠のない自信を持って予選に臨みましたが、結果は二十二位。決勝進出の上位二十位以内まであと五点位

り予選敗退でした。その後も平成二十四年は三十三位、平成二十五年は二十六位と、決勝戦進出まであと一步の高い壁を越えられませんでした。この間に、六段昇段や京都大会優勝など徐々に実績を積み、射技や体配も自分なりに改善している。「そろそろ予選を通過できるのでは？」と淡い期待を胸に中央道場へ向かいました。

初日の付矢では、周りは流石に全日本選手権に出場する先生方です。で腹がすわっており、一手か二手引いて早々に練習を終えていく中、私は往生際が悪く付矢終了時間の最後の一人になるまで練習して本番でやるべき事を確認しました。最後の



手は、練習のし過ぎで弓手には力が入らず全然押し切れませんでした。少し練習の疲労が溜まっている位の方が次の日の本番で無駄な力が入らず個人的には調子が良いです。

予選一回目、一手束って途中結果は出場者百九人中八位。過去にこれ程上位の点数を取ったことは無く驚きました。二回目は乙矢を外してしまい合計四射三中。予選一回目の高順位と、一本外したことで期待と諦め半分半分で最終結果の発表を待ちました。最終順位は十四位で初めて予選通過しました。五年前、初めて出場した時から、観客席で指をくわえて見ていた決勝戦に自分が立てることが夢の様に思えました。以前、山川先生が仰っていた「晴れの舞台では小手先の技術は通用しない！」という言葉が頭に浮かびました。「この晴れの舞台で、手先で中てに行くのではなく、日頃の練習通りの弓を引こう。」と決めて決勝戦に臨みました。しかし決勝戦の弓は普段の練習とは程遠く、中りはしたものの、会は短く、的中に囚われた酷い弓でした。目の前には範士の先生方と観客が見ており、一手引く度に自分の心の弱さと未熟さを痛感して情けない気持ちでいっぱいでした。反省し「次の一手こそは正しい弓を引こ

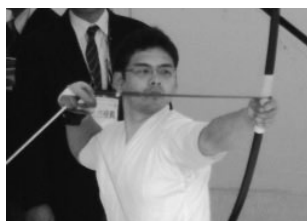


う！」と考えている内に十射引き終わり、何とか皆中出来ました。優勝が決まった瞬間は、鳥肌が立つほど嬉しかったです。

天皇盃は私個人として受賞いたしました。ここに至るまでには多くの先生方が築き上げた技術を私に指導していただいた結果であり、長野県弓道連盟の全員で勝ち取った証であると考えております。ご指導いただきました先生方には大変感謝しております。これからは天皇盃受賞者として恥じない弓を探求し、次の目標へ向かって挑戦し続けたいと思います。

第六十九回国民体育大会を終えて

強化部 伊藤 公二



今年の国民体育大会は、昭和四十四年の第二十四回夏・秋大会以来四十五年ぶり、二回目の開催となる長崎県で行われました。

長崎国体へ向けた強化練習は、一次予選会を通過した選手を対象に行われました。今年は、大雪の影響で二回強化練習が中止になりましたが、例年通り冬季間から始まった強化練習は、基本に返り進められていきました。そして、四月に二次選考会、六月に代表選手選考会を経て、県代表選手が決定しました。選手決定後は、石川県で行われた第三十五回北信越国体へ向けての合宿となりました。北信越はどの県も射型、的中共にレベルが高い中、四種別三種別が通過する事が出来ました。惜しくも、少年男子は通過する事が出来ませんでした。少年男子の思いと共に残された三種別で長崎国体へ臨んで参りました。

本国体の結果は、新津強化部長から先に報告があった様に、近的、成

年男女9位、少年女子9位と一中の的中差で予選通過を逃がす結果でした。遠的についても、三種別共にわずかな得点差で予選通過する事が出来ませんでした。本国体は台風の影響により、初日が中止となり競技日程を短縮され行われました。安全面を配慮しての期間短縮でしたが、



一年間厳しい練習を重ね調整して来た選手達にとって急遽変更された事は精神的にも大きな影響があったと思います。そんな状況の中で、今回の結果を出してくれた選手達は立派だったと思います。

今年は、天気に翻弄され、四種別共に一中が勝敗を分ける結果となりました。結果から見れば、一中でしたが、国体という状況の中で一本的中させる難しさがあり、迷いや不安もあったと思います。迷いについて私を感じた事を書いてみたいと思います。日々一本一本疎かに練習していないはずですが、「中つたからよし」とする環境により「外れは駄目。中ればよし」となり迷いを生む様になります。強化練習の中では、離れの瞬間に「よし」という事が徹底されていきました。離れの瞬間によし悪しを伝えてあげる事で、のびのびと

弓が引け自信につながるのだと思います。強化練習中の指導、聞いた事を自分なりに解釈し文章にしてみました。

最後に、国体期間中の激励のメッセージ、お心遣い、そして遠路応援に来て頂きありがとうございます。一年を通し厳しい練習を重ねてくれた選手に、労いのお言葉をかけて頂けたら幸いです。





長野県弓道支部対抗競技会

昨年9月7日、県連最大の競技会である、支部対抗戦が盛大に開催されました。今年度より四つ矢2回と短縮されましたが、各支部より選りすぐりの弓士達が、日頃の修練の成果を競うべく大熱戦となりました!

個人近的

- 優勝 安藤直貴 (須高支部)
- 2位 松枝敏広 (飯伊支部)
- 3位 清水北登 (佐久支部)

個人遠的

- 優勝 牧内和宏 (飯伊支部)
- 2位 安藤直貴 (須高支部)
- 3位 小澤剛志 (上伊那支部)



私と弓道

大北支部 錬士五段 守屋道則

四十歳を前にたまたま弓道部顧問となった縁で今に至っている。見ていただけではつまらないと、生徒に教わりながら始めたが、指導者の教えを請うこともなく、試行錯誤のうちに我流の十年が過ぎる。当然中らない。

大町高校で専門委員の山田雅亮先生と一緒になる。中る中る。違いがどこにあるかわからない。講習会への参加を勧められる。講習会では体配と射法八節を学び、弓の持ち方、磔のつけ方から直し始める。

大町弓道会にも入る。年配の方が姿勢正しく、弱い弓でもって鋭い矢飛びを見せている。何が違うのか？

次の蟻ヶ崎高校では近藤明子先生が指導されていた。私の射を見て「したすじを働かせて」と一言。「したすじ」とは何か？？？

体の使い方がいい。教員になって覚えたスキーが冬の楽しみ。一瞬も気を抜けない緊張感がいい。滑りながら弓のことを考えている自分に驚く。高速になるほど体軸を使って足裏に加圧



し、雪面からの反動を受けとめる。ターンを始めた時からすでに次のターンへの体重移動が始まり、目線と共に、上体が斜面下方に向かっている。動作が途切れすることはない。足腰を基本にした縦横十文字の張り合いも、足踏みから始まる射法八節も、次へつながら流れる中の動作であることを意識した。

理屈ばかりが先に立ち、頭で思うようには体が動いていない。「やってるつもり」でいるから各先生方からは同じ所を同じように注意される。なかなか変わらない。今は出会えた弓友たちと共に、体の使い方を探っている。

初審査は、とんでもない射だった。まだ先があるからと級位を付けていただいた事を後で知った。その時の温情に救われ今があると感謝している。



弓士集う!!

平成26年度 壮行会・

平成26年9月7日(日)

長野運動公園弓道場

団体近的

- 優勝 飯伊支部 松枝敏広、井原寿恵、牧内和宏、藤澤敏子、平澤敏弘
- 2位 佐久支部 有賀俊裕、清水北登、篠澤英次、白井昌美、牧野ふみ江
- 3位 安曇支部 荒川保、牛越和枝、松井幸彦、丸山真弓、上條誠
- 4位 長野支部 宮島さおり、小松暁子、荒井孝芳、笠井信夫、久保田智恵
- 5位 須高支部 安藤直貴、伊藤貴幸、原周一郎、永藤聡、大蔵務

団体遠的

- 優勝 飯伊支部 牧内和宏、福沢隆夫、井原寿恵、伊藤千昭、平澤敏弘
- 2位 上伊那支部 中村美穂、矢島正男、平澤孝一、手塚信一郎、小澤剛志
- 3位 安曇支部 渡辺晃、相馬孝寿、牛越和枝、猿田功一、松井幸彦
- 4位 塩尻支部 榛葉良美、上野翔太、本道啓行、松井勇樹、伊藤公二
- 5位 上小支部 戸田裕子、岩方あずさ、宮澤利彰、堀内英征、奥山雄三



弓(仲)間(紹介)

上小支部 丸子弓道会 池田文英

丸子弓道会の道場は、安良居神社のある丸子公園の南端にあり、

六人立の道場です。春は鶯、夏は蝉しぐれを聞き、秋は紅葉に囲まれるといった自然環境に恵まれた道場で、上は八十代五人(男4・女1)から下は中学生三人(男1・女2)までの三十七人の会員が澄心の精神をモットーに励んでいます。中学生の三人は、火・金の夜(六時三十分〜八時三十分)毎回練習に来て、熱心に指導を受け練習を重ねています。県中学生大会男子個人の部でS君が優勝、全国大会で健闘した事は、丸子弓道会一同の喜びでした。又、全国ねんりんピックにも今まで数名の方が参加し、女性代表で参加したSさんは八十六歳の今も月例会に参加するお元気さです。

弓道会として取組んでいる事は、次の様なものがあります。

・弓道教室(四月〜六月)火・金の夜六時三十分より二時間。教室終了後も火・金は練習日とし、会員も大勢参加する中で指導を受け、お互いが練習している。

・木曾義仲拳兵県下大会 六月

・毎回七十余名以上の参加がある。

・耐暑五十射会 八月十五日 毎回四十余名の参加あり。終了後、希望者により焼肉会で懇親会を行う。

・体験会 体育の日 体協の協力でグラウンドに矢場を設定して行う。三十余名の参加あり。

・百八射会 大晦日 安良居神社へ二年参り。

・初射会 一月二日 一手射初め後の、的を小さくしていく競射で楽しむ。

・月例会 第三日曜日 一手審査の要領で行い、計二十射の競射。十位まで景品、以下は参加賞。矢渡は当番が行う。必要に応じて介添の講習を行う。

以上です。



祝射会 (於：塩尻市弓道場)

表彰式に続き土川会長の矢渡(介添外蘭、平野副会長)、参加者の祝射、表彰者の答礼射がありました。好天ではあったが寒さが厳しい中熱のこもった行射が続きました。

射会終了後、中信会館に移動し祝宴。会長挨拶、表彰者挨拶(新津強化部長)の後、宮澤廣顧問の音頭で乾杯。祝宴は天皇盃獲得を祝い例年よりちょっと豪華な料理を前に盛り上がりました。



当日表彰を受けられた皆様
(敬称略)

◆長野県体育協会 栄光賞

平澤 敏弘(飯伊支部)

◆長野県体育協会 勲功章

新津 一夫(長鉄支部)

◆平成26年度優秀支部表彰

飯伊支部

◆第65回全日本男子弓道選手権大会優勝

平澤 敏弘(飯伊支部)

◆第59回全国高校総体

男子団体2位・技能優秀校

長野日本大学高等学校

高木 友輔 青木俊太郎

金子 功記 小林 和樹

千野 翔 柄澤 桂吾

◆昇格者

教士 高木 涼子(上小支部)

錬士 手塚信一郎(上伊那支部)

竹内 博(長野支部)

金原 正(佐久支部)

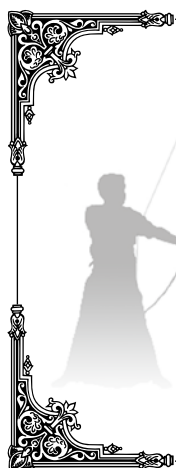
守屋 道則(大北支部)

田中 和彦(長野支部)

◆退任役員

大山 孝吉(長野支部)

井上 宣史(南佐久支部)



平成二十六年 度

11月16日(日)塩尻で平成26年度長野県弓道連盟祝射会が開催されました。

当日は表彰者延べ18名(別掲)を含め88名が参加。本年は県弓連初、平澤敏弘先生の第65回全日本男子弓道選手権大会での天皇盃獲得が最大の祝事。テーブルに飾られた天皇盃を前にしての祝射会となりました。☑



限りない弓道心に
真心で御手伝い



謹賀新年

全日本弓道具協会会員



有限会社

中島弓具店

〒380-0935
長野市中御所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855

大会結果

第56回塩尻市武道大会 弓道競技の部

○平成26年9月14日(日)
参加人数…中学生8名、高校生183名
一般37名、計228名

▲個人の部

- 1位 小田切祐典(小諸懐古)
- 2位 島本 昌晃(駒ヶ根A)
- 3位 吉田 和也(蟻ヶ崎A)
- 4位 中山 結貴(穂商C)
- 5位 伊藤 貴啓(善光寺)

▲団体中学生の部

- 1位 安曇野JSC A(荒井虹太、鎌田悠太)
- 2位 安曇野JSC B(眞島由衣、内川あずみ)
- 3位 塩尻ジュニア(矢島歩武、小林心)

▲団体高校の部

- 1位 縣陵A(平林沙恵、大谷めい、野田美森)
- 2位 蟻ヶ崎A(吉田和也、二木彩華、平林弘旭)
- 3位 大町A(中嶋真之、片瀬知樹、勝川翔伍)

▲団体一般の部

- 1位 あづみ野(相馬孝寿、桐山克枝、丸山 萬佐巳)
- 2位 善光寺(伊藤貴啓、荒川孝芳、曾根原 登志男)
- 3位 小諸懐古(栗林正直、土屋きよみ、小田切祐典)

無相大師奉賛弓道大会 高校の部

○平成26年9月14日(日) 中野市営弓道場
参加人数…高校452名

▲個人男子の部

- 1位 塚田 大成(長野工業)
- 2位 小林 竜哉(須坂)
- 3位 中村 洋介(中野立志館)

▲個人女子の部

- 1位 瀧澤 祐希(長野吉田)
- 2位 荒井 綾音(長野日大)
- 3位 鈴木 美緒(屋代)

▲団体男子の部

- 1位 長野日大C(小林和樹、青木俊太郎、千野翔)
- 2位 長野工業A(塚田大成、丸山紀明、清水拓也)
- 3位 中野西C(橋本十威、島山祐哉、酒井優豪)

▲団体女子の部

- 1位 長野吉田C(百瀬友季、加藤聖華、瀧澤祐希)
- 2位 屋代A(中島冬萌、駒村直子、西村友梨香)
- 3位 長野日大A(山崎愛海、山極西里、荒井綾音)

ねりんピックスポーツ交流大会 弓道競技

○平成25年9月20日(土) 小諸市武道館弓道場

- 1位 白井 昌美(佐久支部)
- 2位 鋤柄 惟夫(飯伊支部)
- 3位 小泉 晃(長野支部)

▲最高齢者

- 男性 仲田 耕一(飯伊支部) 94歳
- 女性 多田かおる(上小支部) 72歳

第64回県下弓道岡谷大会

○平成26年9月21日(日) 岡谷市総合体育館弓道場
参加人数…高校229名 一般43名

▲競技種目…近的8射

- 1位 テレビス(金子夏暉、山口剛、山川彰平) 13中
- 2位 二葉女子A(小林加枝、関美穂、清水希) 13中
- 3位 マンミーアーズ(佐久季聖、友廣大地、久保田大貴) 13中

▲団体戦 高校の部

- 1位 志学館(中村海斗、吉江雅平、下島佑太) 14中
- 2位 岡谷A(岩原祐貴、上野暉、柴翔太) 12中
- 3位 チノ松本(関正幸、土屋文孝、丸山三天) 12中

▲個人戦 高校の部

- 1位 金子 夏暉(岡谷工業) 8中
- 2位 小林 加枝(諏訪二葉) 7中
- 3位 所澤 諒人(岡谷南) 6中

▲個人戦 一般の部

- 4位 柴 慎悟(箕輪進修) 6中
- 5位 塚原 啓太(上田) 6中
- 1位 小林 博正(混成チーム) 6中
- 2位 上野 曜(岡谷A) 6中
- 3位 川村 綾美(諏訪) 6中
- 4位 下鳥 佑太(志学館) 6中
- 5位 宮澤 公利(混成チーム) 6中

第65回全日本男子弓道選手権大会

○平成26年9月21日(日) 23日(火) 全弓連中央道場

- 優勝 平澤 敏弘(飯伊支部) 天皇盃

第51回池田町弓道場開設記念県下弓道大会

○平成26年10月12日(日)
参加人数…220名 競技種目…近的

▲個人の部 高校・一般共通(8射)

- 1位 金子 夏暉(岡工A) 7中
- 2位 長坂章太郎(美須々男子D) 7中
- 3位 勝野 和希(豊科F) 7中

▲団体の部 高校(24射)

- 1位 岡工A(金子夏暉、山口剛、山川彰平) 15中
- 2位 美須々男子B(奥原裕基、望月翔太、平塚竣哉) 15中
- 3位 美須々男子A(小口亮也、高山佑太、上條皓司) 15中

▲団体の部 一般(24射)

- 1位 くろひね(竹山晴美、荒井ゆき子、西澤徹) 15中
- 2位 安曇I(相馬孝寿、柴野恭弘、丸山恒治) 13中
- 3位 池田A(岡本将浩、富根原登志男、渡辺敏夫) 12中

長野県高等学校新人体育大会 弓道競技大会

○平成26年10月18日(土)・19日(日) 塩尻市弓道場
主催者…長野県高等学校体育連盟
参加人数…合計588名

▲個人の部 男子(12射)

- 1位 中江 亮介(伊那弥生ヶ丘) 12中

明けましておめでとうございます

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロツヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは0267-98-2861

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)

12人立2ヶ所

遠的道場 1ヶ所

- 2位 金子 夏暉(岡谷工業)
- 3位 青木俊太郎(長野日大)
- 4位 塚田 大成(長野工業)
- 5位 平塚 竣哉(松本美須ヶヶ丘)
- ▲個人の部女子(12射)
- 1位 米持 奈々(長野日大)
- 2位 若林 重美(上田)
- 3位 赤津みなみ(松商学園)
- 4位 嶋崎 由奈(屋代)
- 5位 上原かなえ(北佐久農業)

- ▲団体の部男子
- 1位 岡谷工業A(金子夏暉、山口剛、山川彰平、土志田佑大)
- 2位 伊那弥生ヶヶ丘A(荒井海人、松澤卓磨、伊藤益瑠、田端敦)
- 3位 岩村田B(小澤隆史、中山大輔、小平颯人、井出和希)
- ▲団体の部女子
- 1位 屋代B(島田友里、嶋崎由奈、仁科あかり、鈴木美緒)
- 2位 長野日大B(山崎愛海、山極茜里、荒井綾音)
- 3位 飯田女子A(佐々木彩香、梶田菜緒、田平麻依、米山あす香)

- ▲個人一般の部(8射)
- 1位 伊藤 雅之(駒工C)
- 2位 片桐 旬弥(飯田F)
- 3位 長谷川 海(駒工C)
- 4位 中沢永美梨(飯女D)
- 5位 小林香也乃(岡南C)
- ▲高校2年生個人一般の部(8射)
- 1位 木下 将太(下農E)
- 2位 南 洗輔(松川A)
- 3位 中山 沙也(飯田D)
- 4位 桜井 涼雅(下農志誠館)
- 5位 須甲麻里名(風越B)

- ▲一般参段以下の部(8射)
- 1位 田中 宏明(喬木)
- 2位 池田 英明(喬木)
- 3位 福沢 隆夫(松川)
- 4位 生田 憲克(混成3)
- 5位 勝野 翔太(阿南)
- ▲一般四段以上の部(8射)
- 1位 小澤 剛志(弓魂)
- 2位 藤澤 敏子(高陵)
- 3位 伊藤 千昭(スリーライン)
- 4位 下平 春夫(高陵)
- 5位 小河内祥喜(弓魂)

- ▲一般団体の部(24射)
- 1位 高陵(下平春夫、木村匡房、藤澤敏子)
- 2位 下農高校E(木下将太、小林健太、林鴻)
- 3位 弓魂(小河内祥喜、湯澤幸司、小澤剛志)

- ▲個人一般の部
- 1位 竹村 茂明(駒ヶ根B)

第12回千曲市長杯弓道大会・一般の部

○平成26年10月19日(日) 千曲市弓道場
 参加資格：一般(大学生は除く)
 競技種目：近的競技個人戦(男子：女子混合)
 競技方法：立射8射 参加人数：33名

第49回県下弓道飯島大会

○平成26年11月2日(日) 飯島町弓道場
 参加人数：103名 競技種目：個人戦8射
 ▲個人学生の部

- ▲個人一般の部
- 1位 竹村 茂明(駒ヶ根B)

- ▲個人学生の部
- 1位 菅部 洋輔(駒工A)
- 2位 久保田大貴(岡工B)
- 3位 高坂 彩水(Team JAS)
- 4位 木下 将大(下農A)
- 5位 北原 知佳(伊那西)

- ▲個人一般の部
- 1位 竹村 茂明(駒ヶ根B)

- ▲個人学生の部
- 1位 菅部 洋輔(駒工A)
- 2位 久保田大貴(岡工B)
- 3位 高坂 彩水(Team JAS)
- 4位 木下 将大(下農A)
- 5位 北原 知佳(伊那西)

- ▲個人一般の部
- 1位 竹村 茂明(駒ヶ根B)

第26回国宝松本城奉射弓道大会

○平成26年11月3日(月・祝日) 松本市弓道場
 競技種目：近的個人(8射)
 参加人数：一般104名、高校生161名、合計265名

- ▲高校男子の部
- 1位 平塚 竣哉(美須ヶヶ男子A)
- 2位 吉池 佑航(美須ヶヶ男子B)
- 3位 古田 真章(東海大三B)
- 4位 藤原 心大(木曾青峰A)
- 5位 片瀬 光哉(県陵男子B)

- ▲男子の部
- 1位 長野日大B(青木俊太郎、柄澤桂吾、塩釜圭礎、小林和樹、千野翔)
- 2位 岡谷工業(佐久季聖、久保田大貴、清水暉、山川彰平、土志田佑大)
- 3位 須坂B(田中宏昌、熊井匠、田中健太郎、月岡希、小林竜哉)
- ▲女子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

- ▲男子の部
- 1位 長野日大B(青木俊太郎、柄澤桂吾、塩釜圭礎、小林和樹、千野翔)
- 2位 岡谷工業(佐久季聖、久保田大貴、清水暉、山川彰平、土志田佑大)
- 3位 須坂B(田中宏昌、熊井匠、田中健太郎、月岡希、小林竜哉)
- ▲女子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

- ▲男子の部
- 1位 長野日大B(青木俊太郎、柄澤桂吾、塩釜圭礎、小林和樹、千野翔)
- 2位 岡谷工業(佐久季聖、久保田大貴、清水暉、山川彰平、土志田佑大)
- 3位 須坂B(田中宏昌、熊井匠、田中健太郎、月岡希、小林竜哉)
- ▲女子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

- ▲男子の部
- 1位 長野日大B(青木俊太郎、柄澤桂吾、塩釜圭礎、小林和樹、千野翔)
- 2位 岡谷工業(佐久季聖、久保田大貴、清水暉、山川彰平、土志田佑大)
- 3位 須坂B(田中宏昌、熊井匠、田中健太郎、月岡希、小林竜哉)
- ▲女子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

第12回千曲市長杯弓道大会・高校の部

○平成26年11月3日(月) 千曲市弓道場
 競技種目：近的競技団体戦(5人1チーム)
 競技方法：40射
 参加人数：男子36チーム、女子34チーム

- ▲高校女子の部
- 1位 生田 憲克(岡工混成)
- 3位 村松 和彦(混成A)
- 4位 笠原 武明(松川)
- 5位 唐澤 徳(高森)
- ▲団体の部
- 1位 駒工B(那須野叶、宮澤拓陽、藤川一樹)
- 2位 岡谷(菅原祐貴、上野暉、柴翔太)
- 3位 岡工B(佐久季聖、友廣大地、久保田大貴)

- ▲男子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

- ▲男子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

- ▲男子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

- ▲男子の部
- 1位 須坂B(氷見早矢歌、千脇あさひ、安田美波都、矢野美佑華、末岡花)
- 2位 屋代A(中島冬萌、西村友梨香、篠原瑞希、駒村直子、飯島千智)
- 3位 長野日大(中村聖奈、山極茜里、五十嵐ももな、荒井綾音、米持奈々)

第44回北信越弓道選手権大会

○平成26年11月9日(日)
 石川県立武道館弓道場

- ▲団体戦男子有段者の部(36射)
- 1位 長野県(安藤真貴、清水北登、市川隆光)
- 2位 石川県
- 3位 新潟県
- ▲団体戦女子有段者の部(36射)
- 1位 石川県
- 2位 長野県(井原寿恵、川村綾美、小澤静香)
- 3位 富山県

- ▲団体戦男子有段者の部(36射)
- 1位 長野県(安藤真貴、清水北登、市川隆光)
- 2位 石川県
- 3位 新潟県
- ▲団体戦女子有段者の部(36射)
- 1位 石川県
- 2位 長野県(井原寿恵、川村綾美、小澤静香)
- 3位 富山県

- ▲団体戦男子有段者の部(36射)
- 1位 長野県(安藤真貴、清水北登、市川隆光)
- 2位 石川県
- 3位 新潟県
- ▲団体戦女子有段者の部(36射)
- 1位 石川県
- 2位 長野県(井原寿恵、川村綾美、小澤静香)
- 3位 富山県



- ▲団体戦 称号受有者の部(36射)
 - 1位 長野県 亀岡英司、牧野ふみ江、平澤敏弘 34中
 - 2位 石川県 30中
 - 3位 新潟県 25中

- ▲個人戦 男子有段者の部(12射)
 - 1位 清水 北登(佐久支部) 12中
 - 2位 安藤 直貴(須高支部) 12中
 - 3位 園 悟志(石川県) 10中

- ▲個人戦 女子有段者の部(12射)
 - 1位 内田 美空(福井県) 10中
 - 2位 山口 千春(石川県) 9中
 - 3位 山嶽三千枝(石川県) 9中

- ▲個人戦 称号受有者の部(12射)
 - 1位 平澤 敏弘(飯伊支部) 12中
 - 2位 西田 義人(石川県) 12中
 - 3位 亀岡 英司(南佐久支部) 12中

第17回全日本官庁弓道大会

- 平成26年11月22日(土) 明治神宮中央道場
- ▲個人戦
 - 1位 宮原 勝弘(塩尻市役所)
 - 2位 市川 隆光(諏訪市役所)

- ▲団体戦
 - ベスト8入賞 塩尻市役所 敢闘賞

第70回国民体育大会弓道競技長野県成年男女1次選考会

- 平成26年11月23日(日) 塩尻市弓道場
- ▲一次予選通過者成年男子11名
 - 小田切祐典(小諸) 本道 啓行(塩尻)
 - 飯野 勇希(諏訪) 清水 伸浩(諏訪)
 - 上野 曜(諏訪) 岩原 祐貴(諏訪)
 - 平澤 敏弘(飯伊) 宮原 勝広(木曾)
 - 清水 北登(佐久) 市川 隆光(諏訪)
 - 伊藤 貴啓(長野)

野辺山洗心弓道大会

- 平成26年11月29日(土)~30日(日) 野辺山帝産ロッヂ洗心弓道場
- 参加人数...一般73名
- 射数...近的20射、遠的20射

- ▲一次予選通過者成年女子10名
 - 井原 寿恵(飯伊) 川村 綾美(諏訪)
 - 戸田 裕子(上小) 水田 明美(上伊那)
 - 竹花 葵(上小) 伊藤 梓(長野)
 - 竹内ひかり(諏訪) 高地美佐子(上小)
 - 原 深雪(諏訪) 牧野ふみ江(佐久)

第4回北信越高等学校弓道新人大会

- 平成26年12月13日(土) 富山県射水市大島弓道場
- 参加人数...約200名

- ▲個人の部(予選4射、準決勝4射、決勝射詰)
 - 男子2位 金子 夏暉(岡谷工業)
- ▲団体の部(予選24射(8射×3名)、決勝トーナメント12射(4射×3名))
 - 男子2位 伊那弥生ヶ丘高校(荒井海人、松澤卓磨、伊藤益瑠、中江亮介)
 - 女子1位 長野日大高校(中村聖奈、荒井綾音、米持奈々、山極茜里)

- ▲女子技能優秀賞
 - 長野日本大学高校

昇段昇格者

- 「福井」北信越地区臨時中央審査
 - ▽錬士の部 平成26年9月13日 金井 正(佐久支部)

- 「上尾」関東地区臨時中央審査
 - ▽錬士の部 平成26年9月27日 守屋 道則(大北支部)
 - ▽六段の部 平成26年9月28日 小池 君男(長野支部)

- 「秋田」東北地区臨時中央審査
 - ▽六段の部 平成26年10月26日 内山 喜照(諏訪支部)

- 東京定期中央審査
 - ▽六段の部 平成26年10月31日 真関 志野(松本支部)

- 「甲府」関東地区錬士臨時中央審査
 - ▽錬士の部 平成26年11月9日 田中 和彦(長野支部)

表彰

- 長野市体育協会スポーツ振興功績者表彰
 - 功労章 井掘 孝雄(長鉄支部)
 - 功労章 小池 房子(長野支部)
 - 功労章 小林 義一(長野支部)

つづい

弓道教室を実施して、はたして何名が支部に入会するのだろうか、などと考えることがあります。それは教室で指導する立場側からの言い方であるのに対し、受講者側の立場で考えると、受講目的は千差万別人それぞれ異なるな動機で受講するわけですよね。『前から機会があればやってみたいと思っていた』とか、『高校時代にやった以来だが、基本から教えてもらい上達したい。』『趣味をもちたかった。』『健康の為、生涯学習のつもりで弓道を選びました。』など様々な思いで教室を受講しているようです。

礼儀作法を尊重し、伝統文化の一端にふれることができる弓道を行うことにより、弓道を思想的、精神的に追及すること、もう一方、健康維持や趣味としての生涯スポーツとすることができると二つに分かれています。

そうそう、健康といえは、最近杖に興味をもつようになりました。ウォーキングで使うストックもそうですし、今ではステッキはファッションの一部だそうです。今まで「持ちたくない物」とされていた杖は、「持ちたい物」にあげられる程とか。

明るい健康社会にしたいものですね。

安曇支部 丸山萬佐巳